

△大倉執行委員長 木村鉄吉の挨拶

今日の如く日本の無産階級運動が四五天裂の状態にある時左翼労働組合の運動方針を決断すべき重要な大会に於て、大倉執行委員長は選出されたことを光栄とする。

今日の如く同様の社会は戦前の独逸の如き観がある。反動的勢力の怒涛の如く押しよせて来たが、この弊は日本無産階級運動の歴史に於ける如きものである。独逸のカーヒンリープクネロト、ローザ、ハクヤニツルケニ人々鋭く其の戦争に反対し結んで来たが、これは天賦階級のキハ襲撃を。

しかしプロレタリアートの勢力は少しも減殺されるなかつた。一人の同志が殺すゆゑには千人の同志が起ち上るのだ。私は満月のカーヒンローザが二人の如く最後まで勇敢に闘はんことを希望する。